

# DISCLOSURE2022

2022年度 上期の概況



たちばな信用金庫



# たちばなしんきん と 地域社会

～ この街と生きていく ～

皆様の  
地域に大切  
な資金を  
元し  
ていま  
す

【預金積金】  
144,771百万円  
【出資金】  
878百万円

当金庫は、お客様にご満足いただけるよう、預金商品の開発やサービスの充実に努めています。

地域のお客様

【有価証券での運用】  
28,667百万円  
【預証率】  
19.80%

○ご融資以外の運用について  
お客様からお預りした預金の一部を、有価証券で運用しています。対象の選定にあたっては安全性を第一とし、国債等の公共債や事業債等を中心に購入しています。

【貸出金】  
87,092百万円  
【預貸率】  
60.15%

○地域のお客様へのご融資について  
当金庫は、地域のお客様の幅広い資金ニーズにお応えしています。事業資金の融資や住宅ローンなどの個人向け融資を積極的に行っております。  
○お取引先への支援等について  
当金庫は、コロナ禍におきまして、資金繰り支援の融資を積極的に対応しています。今後も継続して、きめ細かい課題解決型金融機能の推進を図り、経営改善や事業再生に向けたコンサルティング機能の発揮や販路拡大等への支援を行います。

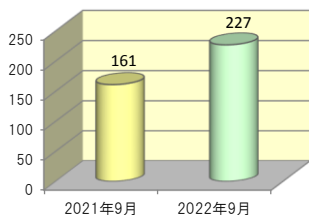
たちばな信用金庫

常勤役員数171人

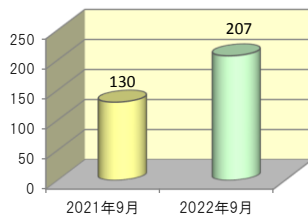
お客様からお預りした大切な預金は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをさせていただいております。

## 主要な経営指標

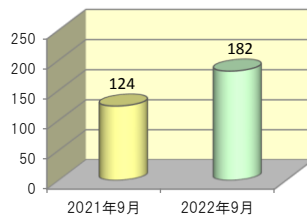
経常利益(単位:百万円)



業務純益(単位:百万円)



当期純利益(単位:百万円)



●経常利益

本来の業務から得られる営業利益に、有価証券の売却益等の臨時収益や貸倒引当金等の臨時費用を加減したものです。

●業務純益

貸出金や有価証券の受入利息や受入手数料等の収入から、預金の支払利息や支払手数料、経費を差し引いたものです。

●当期純利益

経常利益に非反復的、非経常的な損益である特別損益を差し引いた税引前当期純利益から、法人税、住民税及び事業税を差し引いたものです。

## 単体自己資本比率(国内基準)

自己資本比率は「金融機関の健全性」を見る重要な指標です。信用金庫は、自己資本比率を4%以上維持し、健全な財務を保つことが義務付けられています。

●単体自己資本比率

(単位:百万円、%)

|                  | 2022年9月 | 経過措置による不算入額 |
|------------------|---------|-------------|
| コア資本に係る基礎項目(A)   | 5,693   |             |
| コア資本に係る調整項目(B)   | 4       |             |
| 自己資本額(A)-(B)=(C) | 5,689   |             |
| リスク・アセット等計(D)    | 67,078  |             |
| 自己資本比率(C)÷(D)    | 8.48    |             |
| 総所要自己資本額         | 2,683   |             |

<参考>

(単位:百万円、%)

|  | 2022年3月 | 経過措置による不算入額 |
|--|---------|-------------|
|  | 5,510   |             |
|  | 5       |             |
|  | 5,505   |             |
|  | 65,248  |             |
|  | 8.43    |             |
|  | 2,609   |             |

※総所要自己資本額  
=リスク・アセット等計×4%

## 預金・貸出金の状況

●預金・貸出金の状況

(単位:百万円)

|       | 2022年9月末 |
|-------|----------|
| 預 金   | 144,771  |
| 貸 出 金 | 87,092   |

<参考>

(単位:百万円)

|  | 2022年3月末 | 2021年9月末 |
|--|----------|----------|
|  | 141,817  | 140,677  |
|  | 86,464   | 86,307   |

## 貸出金の内訳（業種別）

| ●貸出金の内訳         |  | （単位：百万円） |
|-----------------|--|----------|
|                 |  | 2022年9月末 |
| 製 造 業           |  | 2,308    |
| 農 業、林 業         |  | 122      |
| 漁 業             |  | 36       |
| 鉱業、採石業、砂利採取業    |  | —        |
| 建 設 業           |  | 6,447    |
| 電気、ガス、熱供給、水道業   |  | 233      |
| 情報通信業           |  | 36       |
| 運輸業、郵便業         |  | 811      |
| 卸売業、小売業         |  | 5,913    |
| 金融業、保険業         |  | 3,139    |
| 不動産業            |  | 16,490   |
| 物品賃貸業           |  | 261      |
| 学術研究、専門・技術サービス業 |  | 399      |
| 宿泊業             |  | 890      |
| 飲食業             |  | 2,433    |
| 生活関連サービス業、娯楽業   |  | 859      |
| 教育、学習支援業        |  | 182      |
| 医療、福祉           |  | 4,395    |
| その他のサービス        |  | 4,153    |
| 小 計             |  | 49,117   |
| 地方公共団体          |  | 6,105    |
| 個人（住宅・消費・納税資金等） |  | 31,869   |
| 合 計             |  | 87,092   |

| <参考>            |  | （単位：百万円） |
|-----------------|--|----------|
|                 |  | 2022年3月末 |
| 製 造 業           |  | 2,431    |
| 農 業、林 業         |  | 110      |
| 漁 業             |  | 45       |
| 鉱業、採石業、砂利採取業    |  | —        |
| 建 設 業           |  | 6,830    |
| 電気、ガス、熱供給、水道業   |  | 250      |
| 情報通信業           |  | 39       |
| 運輸業、郵便業         |  | 822      |
| 卸売業、小売業         |  | 5,339    |
| 金融業、保険業         |  | 3,131    |
| 不動産業            |  | 15,886   |
| 物品賃貸業           |  | 266      |
| 学術研究、専門・技術サービス業 |  | 410      |
| 宿泊業             |  | 1,011    |
| 飲食業             |  | 2,396    |
| 生活関連サービス業、娯楽業   |  | 949      |
| 教育、学習支援業        |  | 117      |
| 医療、福祉           |  | 4,333    |
| その他のサービス        |  | 3,919    |
| 小 計             |  | 48,292   |
| 地方公共団体          |  | 6,547    |
| 個人（住宅・消費・納税資金等） |  | 31,624   |
| 合 計             |  | 86,464   |

※貸アパートもしくは貸ビル建設に係る貸出金は個人であっても不動産業へ計上しております。

※業種別の区分は、日本標準産業分類の大部分に準じて記載しております。

## 金融再生法ベースの債務者区分による開示(単体)

| ●金融再生法開示債権        |  | （単位：百万円） |
|-------------------|--|----------|
|                   |  | 2022年9月末 |
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 |  | 341      |
| 危険債権              |  | 1,455    |
| 要管理債権             |  | 158      |
| 正常債権              |  | 87,488   |
| 合 計               |  | 89,444   |

| <参考> |  | （単位：百万円） |
|------|--|----------|
|      |  | 2022年3月末 |
|      |  | 558      |
|      |  | 1,536    |
|      |  | 68       |
|      |  | 86,637   |
|      |  | 88,800   |

| ●金融再生法債権の保全状況 |  | （単位：百万円、％） |     |         |
|---------------|--|------------|-----|---------|
|               |  | 2022年9月末   |     |         |
|               |  | 担保・保証等     | 引当金 | 保全率     |
| 破産更生債権等       |  | 215        | 126 | 100.00% |
| 危険債権          |  | 949        | 390 | 92.05%  |
| 要管理債権         |  | 45         | 19  | 41.13%  |
| 合 計           |  | 1,210      | 536 | 89.32%  |

| <参考> |  | （単位：百万円、％） |     |         |
|------|--|------------|-----|---------|
|      |  | 2022年3月末   |     |         |
|      |  | 担保・保証等     | 引当金 | 保全率     |
|      |  | 414        | 144 | 100.00% |
|      |  | 985        | 402 | 90.34%  |
|      |  | 33         | 8   | 60.67%  |
|      |  | 1,432      | 555 | 91.89%  |

| ●金融再生法上における不良債権比率 |       |
|-------------------|-------|
| 2022年9月末          | 2.18% |

| <参考>     |       |
|----------|-------|
| 2022年3月末 | 2.43% |

●金融再生法開示債権の開示基準は、担保や保証があり回収確実な部分や、貸倒引当金が計上されている部分、いわゆる保全可能分を含んで開示しています。よって全てが回収不能債権となる訳ではありません。

## 有価証券の時価情報

| ●その他有価証券で時価のあるもの |  | （単位：百万円） |       |     |     |
|------------------|--|----------|-------|-----|-----|
|                  |  | 2022年9月末 |       |     |     |
|                  |  | 時 価      | 評価差額  | うち益 | うち損 |
| 債 券              |  | 22,097   | △ 367 | 85  | 452 |
| 株 式              |  | 73       | △ 7   | 5   | 13  |
| そ の 他            |  | 6,204    | △ 354 | 144 | 498 |
| 合 計              |  | 28,375   | △ 729 | 235 | 965 |

| <参考> |  | （単位：百万円） |      |     |     |
|------|--|----------|------|-----|-----|
|      |  | 2022年3月末 |      |     |     |
|      |  | 時 価      | 評価差額 | うち益 | うち損 |
|      |  | 18,083   | △ 29 | 141 | 171 |
|      |  | 95       | △ 2  | 13  | 16  |
|      |  | 6,090    | 10   | 195 | 185 |
|      |  | 24,268   | △ 21 | 351 | 373 |

| ●満期保有目的有価証券で時価のあるもの |  | （単位：百万円） |      |     |     |
|---------------------|--|----------|------|-----|-----|
|                     |  | 2022年9月末 |      |     |     |
|                     |  | 帳簿価額     | 含み損益 | うち益 | うち損 |
| 債 券                 |  | 280      | —    | —   | —   |
| そ の 他               |  | —        | —    | —   | —   |
| 合 計                 |  | 280      | —    | —   | —   |

| <参考> |  | （単位：百万円） |      |     |     |
|------|--|----------|------|-----|-----|
|      |  | 2022年3月末 |      |     |     |
|      |  | 帳簿価額     | 含み損益 | うち益 | うち損 |
|      |  | 280      | —    | —   | —   |
|      |  | —        | —    | —   | —   |
|      |  | 280      | —    | —   | —   |

| ●市場価格のない株式等の貸借対照表計上額 |  | （単位：百万円） |      |     |     |
|----------------------|--|----------|------|-----|-----|
|                      |  | 2022年9月末 |      |     |     |
|                      |  | 帳簿価額     | 含み損益 | うち益 | うち損 |
| 子会社・関連会社株式           |  | —        | —    | —   | —   |
| 非上場株式                |  | 11       | —    | —   | —   |

| <参考> |  | （単位：百万円） |      |     |     |
|------|--|----------|------|-----|-----|
|      |  | 2022年3月末 |      |     |     |
|      |  | 帳簿価額     | 含み損益 | うち益 | うち損 |
|      |  | —        | —    | —   | —   |
|      |  | 11       | —    | —   | —   |

●売買目的有価証券 該当ございません

（注）2022年9月末の「評価差額」および「含み損益」は、2022年9月末時点の帳簿価格（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。



## ■ 地域貢献活動など

### ● よい仕事おこしフェア実行委員会と諫早市および株式会社長崎国際テレビとの「包括連携協定」を締結

9月30日に「よい仕事おこしフェア実行委員会」と諫早市および株式会社長崎国際テレビは、包括連携協定を締結しました。当金庫は、諫早市および長崎県の「いい商品」「いいところ」の情報を全国に向け発信し、信用金庫約7,400店舗のネットワークを活用して、全国の信用金庫のお客様の「売りたい」「買いたい」「組みたい」等と繋げることで、よい仕事の創造を応援します。



### ● 「第16回岡山県しんきん合同ビジネス交流会」にオンライン参加

9月14日に「第16回岡山県しんきん合同ビジネス交流会」が3年ぶりに開催されました。コロナ感染症拡大防止の観点から、岡山県外からの参加となる当金庫はオンラインのみの参加となったものの、取引先2先が参加し、6つの商談が行われ、うち1つの商談では、当金庫の取引先と岡山県の卸売業者と商談が成約しました。

### ● 西九州新幹線開業記念イベントにボランティアとして参加

9月23日に長崎県民悲願の西九州新幹線が開業し、これを記念して23日～25日に開催された「西九州新幹線開業記念イベント」に、当金庫職員31名がボランティアとして参加しました。



### ● ウクライナの人々への支援を行うため「折り鶴に願いをプロジェクト」を実施

ウクライナの人道危機が続く中、世界平和への願いを形にしながらウクライナへの支援を行うため、当金庫は、まちづくり包括連携協定を締結している諫早市と「折り鶴に願いをプロジェクト」を共同で実施しました。

平和への願いを込めた折り鶴を募集し、集まった折り鶴の羽数に見合う寄付金を協賛企業が支援することで、「ウクライナ人道危機救援金(日本赤十字社)」に寄付するプロジェクトで、6月20日～7月20日の期間中、諫早市内の小・中学校等から目標を上回る15万羽以上の折り鶴が集まり、協賛企業27社から140万円を日本赤十字社に寄付しました。

集まった折り鶴は、長崎県立西陵高等学校で折り鶴アートが作成され、諫早市内にて展示されました。また、折り鶴アートに使用されなかった折り鶴は、千羽鶴として、長崎原爆資料館に寄贈されます。



### ● SDGsセミナー SDGsカードゲーム体験会を開催

SDGsの考え方を地域の活性化に活かし、地方創生に繋げることを目的に、6月15日にSDGsセミナーおよびSDGsカードゲーム体験会を開催しました。

セミナーでは、長崎大学経済学部准教授山口純哉氏を講師に「地域企業・経済のSDGsははじめの一歩」と題し、中小企業におけるSDGsへの取り組みの事例を紹介しながら、地域企業のSDGsへの取り組み方を講演いただきました。

SDGsカードゲーム体験会は、SDGs 地方創生包括連携協定を締結している東京海上日動火災保険株式会社と共同で実施しました。カードゲームを通してSDGsの基本的知識を学んだり、SDGsを「世界規模」から「地域」に落とし込むことで「持続可能なまちづくり」の実現に向けた具体的な行動スキル・考え方を学ぶことができ、参加者のSDGsの理解への一助となりました。



### ● 長崎県立諫早商業高等学校の実習授業への協力

一昨年、昨年に引き続き、長崎県立諫早商業高等学校の実習授業「Can Show」に協力しました。8月5日に説明会が行われ、これまでの実習において、受入企業から「斬新な発想がよかった」「これまで気が付かなかったものがあり、参考になった」等の感想が寄せられていたこともあり、過去最高の23企業が参加しました。

同校の部活動「商業クラブ」が諫早市への来訪客増加を目的に企画した諫早市の観光ガイドブックの制作では、協力していただいた諫早市内の企業のほか、諫早市からも協力の申し出があったことから、産学官金が連携した諫早市の魅力PRの取り組みとなりました。

